

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	PC 規準指針小委員会		主 査 名：西山峰広 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (プレストレストコンクリート構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：丸田 誠
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>①『プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説』の改定を行う。②現在刊行されている『プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説』『プレストレスト鉄筋コンクリート(Ⅲ種PC)構造設計・施工指針・同解説』および『プレストレストコンクリート造建築物の性能評価型設計施工指針(案)・同解説』のメンテナンスを行う。③建築学会におけるPC関係の規準と指針のあり方，将来の方向性について検討する。④新規準や新指針策定の可能性を検討し，その作業を統括する。</p> <p>初年度：『プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説』の改定に向けて，目次案作成，担当者案作成，作業計画策定を行う。</p> <p>2 年度：『プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説』の改定原稿を作成する。原稿の委員会内査読を行う。さらに，PC構造運営委員会と構造本委員会での査読へ対応する。</p> <p>3 年度：『プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説』の改定版を出版し，講習会を開催する。『プレストレスト鉄筋コンクリート(Ⅲ種PC)構造設計・施工指針・同解説』の改定に向けて，目次案作成，担当者案作成，作業計画策定を行う。</p> <p>4 年度：『プレストレスト鉄筋コンクリート(Ⅲ種PC)構造設計・施工指針・同解説』の改定原稿を作成する。原稿の委員会内査読を行う。さらに，PC構造運営委員会と構造本委員会での査読へ対応する。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：西山峰広(京都大学) 幹事：加藤誠一(オリエンタル白石) 委員：阿波野昌幸(近畿大学)，大塚夕(ピーエス三菱)，加藤博人(ベターリビング)，川本浩一(ピーエス三菱)，岸田慎司(芝浦工業大学)，岸本一蔵(近畿大学)，河野進(東京工業大学)，島崎和司(神奈川大学)，菅田昌宏(竹中工務店)，深井悟(日建設計)，福井剛(日本大学)，増田安彦(大林組)，丸田誠(静岡理工科大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>PC材料・施工WG：改定予定の『プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説』の材料および施工に関する章の原稿を作成する。</p> <p>PC規準設計例作成WG：改定予定の『プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説』の設計例を作成する。</p>		
2017年度予算	160,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://news-sv.aj.or.jp/kouzou/s16/</p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	

対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 『プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説』の改定に向けて、目次案作成、執筆担当者案作成、作業計画策定を行った。作業はほぼ予定通りに進行している。
委員会活動の問題点・課題	1. 『プレストレスト鉄筋コンクリート(Ⅲ種 PC)構造設計・施工指針・同解説』の残部がなくなり、300部の増刷を行った。5年程度でなくなる予定なので、本指針の改定にも早期に着手する必要がある。 2. 『プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説』の改定に向けての作業において、他の指針との整合性など検討課題が多いことが明らかになってきた。